



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション
 コード番号 6392 URL <https://www.yamadacorp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 昌太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 村瀬 博樹

TEL 03-3777-5101

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,044	2.5	1,002	25.9	1,045	26.3	778	22.7
2019年3月期第3四半期	8,249	8.1	1,352	17.5	1,419	22.4	1,006	32.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 724百万円 (27.4%) 2019年3月期第3四半期 998百万円 (8.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	325.00	
2019年3月期第3四半期	420.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,002	10,272	76.8
2019年3月期	13,022	9,758	72.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 9,987百万円 2019年3月期 9,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		35.00		50.00	85.00
2020年3月期		37.00			
2020年3月期(予想)				53.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	3.3	1,500	15.6	1,500	19.0	1,060	19.2	442.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	2,400,000 株	2019年3月期	2,400,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	5,789 株	2019年3月期	5,789 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	2,394,211 株	2019年3月期3Q	2,394,225 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済の動向は、米国においては、引き続き通商政策の不透明感などを背景に企業景況感や設備投資が軟調となる一方、個人消費は鈍化したものの堅調な伸びを維持しました。

欧州においては、個人消費は堅調ながらも外需と在庫調整による下押し圧力が続き、設備投資の勢いにも鈍化傾向が見られ、低調な推移となりました。

中国をはじめとする新興国経済は、中国では政府による所得税減税や地方債発行などで景気の下支えがあったものの、輸出や投資の落ち込みをカバーしきれず、成長の勢いが鈍化傾向にありましたが、足元では底打ちの兆しが見られました。

一方、日本経済においては、鉱工業生産は海外経済の減速に伴う輸出の低迷などから引き続き弱い動きとなり、個人消費は緩やかな持ち直しが続いているものの、消費税率引き上げ後は駆け込み需要の反動で消費の勢いは減速しております。また、設備投資は高水準の企業収益を背景に堅調に推移し、国内景気は横ばい圏で推移しました。

こうした中、当社グループにおいては、オートモティブ部門では、環境改善機器である全自動フロンガス交換機は引き続き好調を維持し、インダストリアル部門では、インキポンプや当社の主力製品であるダイアフラムポンプは堅調に推移しましたが、全般としては一般設備機器の売上低迷などにより低調な推移となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は8,044百万円(前年同期比△204百万円、2.5%減)となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は2,202百万円(前年同期比△181百万円、7.6%減)、インダストリアル部門は4,867百万円(前年同期比△13百万円、0.3%減)となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は975百万円(前年同期比△8百万円、0.9%減)となりました。

利益面では、売上総利益は3,379百万円(前年同期比△233百万円、6.5%減)となり、営業利益は1,002百万円(前年同期比△350百万円、25.9%減)、経常利益は1,045百万円(前年同期比△373百万円、26.3%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は778百万円(前年同期比△228百万円、22.7%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における外部顧客に対する売上高は4,234百万円(前年同期比△187百万円、4.2%減)、営業利益は581百万円(前年同期比△434百万円、42.8%減)となりました。米国における外部顧客に対する売上高は2,460百万円(前年同期比35百万円、1.5%増)、営業利益は294百万円(前年同期比△14百万円、4.7%減)となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は742百万円(前年同期比5百万円、0.8%増)、営業利益は39百万円(前年同期比30百万円、352.6%増)となりました。中国における外部顧客に対する売上高は400百万円(前年同期比△57百万円、12.6%減)、営業利益は31百万円(前年同期比△15百万円、33.3%減)となりました。タイにおける外部顧客に対する売上高は206百万円(前年同期比0百万円、0.0%増)、営業利益は5百万円(前年同期比△9百万円、63.7%減)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は4,186百万円(前年同期比23百万円、0.6%増)で、その割合は52.0%(前年同期50.5%、1.5ポイント増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は13,002百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少(△263百万円)、商品及び製品の増加(262百万円)、現金及び預金の減少(△39百万円)等によるものであります。

負債合計は2,729百万円となり、前連結会計年度末に比べ535百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少(△128百万円)、1年内返済予定を含めた長期借入金の減少(△125百万円)、未払法人税等の減少(△228百万円)等によるものであります。

純資産合計は10,272百万円となり、前連結会計年度末に比べ514百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加(569百万円)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は76.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,491百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは623百万円の純収入(前年同期は1,028百万円の純収入)となりました。これは主に法人税等の支払額548百万円等の支出要因があったものの、税金等調整前四半期純利益1,091百万円等の収入要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは254百万円の純支出(前年同期は255百万円の純支出)となりました。これは主に定期預金の払戻による80百万円等の収入要因があったものの、有形固定資産の取得による343百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは322百万円の純支出(前年同期は304百万円の純支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による122百万円、配当金の支払による200百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,531,761	4,491,845
受取手形及び売掛金	1,866,257	1,603,220
商品及び製品	1,608,588	1,870,967
仕掛品	376,257	429,495
原材料及び貯蔵品	588,314	466,344
その他	140,616	204,106
貸倒引当金	△6,052	△9,537
流動資産合計	9,105,743	9,056,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,347,658	1,317,790
土地	1,188,105	1,186,574
その他(純額)	617,304	672,807
有形固定資産合計	3,153,068	3,177,172
無形固定資産	115,303	167,591
投資その他の資産	648,722	600,922
固定資産合計	3,917,094	3,945,685
資産合計	13,022,838	13,002,128
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,404,492	1,275,615
短期借入金	120,000	130,000
1年内返済予定の長期借入金	153,809	56,386
未払法人税等	228,688	—
賞与引当金	166,577	44,162
未払費用	189,296	190,703
その他	135,954	212,967
流動負債合計	2,398,818	1,909,835
固定負債		
長期借入金	241,980	213,641
繰延税金負債	199,120	198,059
退職給付に係る負債	275,901	269,375
役員退職慰労引当金	44,699	45,899
資産除去債務	16,869	16,566
長期未払金	32,270	32,270
その他	54,957	43,800
固定負債合計	865,797	819,613
負債合計	3,264,615	2,729,448

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	58,187	58,187
利益剰余金	8,661,721	9,231,550
自己株式	△6,855	△6,855
株主資本合計	9,313,053	9,882,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118,187	102,663
為替換算調整勘定	44,462	1,905
その他の包括利益累計額合計	162,649	104,568
非支配株主持分	282,519	285,228
純資産合計	9,758,222	10,272,680
負債純資産合計	13,022,838	13,002,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	8,249,117	8,044,830
売上原価	4,635,950	4,665,395
売上総利益	3,613,167	3,379,434
販売費及び一般管理費	2,260,843	2,377,338
営業利益	1,352,323	1,002,096
営業外収益		
受取利息	3,040	8,129
受取配当金	11,622	12,081
負ののれん償却額	3,668	3,668
為替差益	33,254	—
不動産賃貸料	23,765	23,297
その他	6,381	14,929
営業外収益合計	81,733	62,107
営業外費用		
支払利息	1,478	5,456
売上割引	10,019	7,790
為替差損	—	1,360
その他	3,220	3,707
営業外費用合計	14,718	18,315
経常利益	1,419,339	1,045,887
特別利益		
固定資産売却益	1,956	1,661
投資有価証券売却益	7,553	44,985
特別利益合計	9,510	46,646
特別損失		
固定資産処分損	225	1,482
特別損失合計	225	1,482
税金等調整前四半期純利益	1,428,623	1,091,052
法人税、住民税及び事業税	392,262	278,173
法人税等調整額	21,400	30,024
法人税等合計	413,663	308,198
四半期純利益	1,014,960	782,853
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,091	4,727
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,006,868	778,125

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,014,960	782,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,603	△15,524
為替換算調整勘定	23,281	△42,556
その他の包括利益合計	△16,321	△58,081
四半期包括利益	998,638	724,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	990,546	720,044
非支配株主に係る四半期包括利益	8,091	4,727

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,428,623	1,091,052
減価償却費	170,316	256,575
負ののれん償却額	△3,668	△3,668
固定資産売却損益(△は益)	△1,731	△179
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△44,985
受取利息及び受取配当金	△14,663	△20,211
支払利息	1,478	5,456
売上債権の増減額(△は増加)	235,520	255,726
たな卸資産の増減額(△は増加)	△101,580	△213,634
仕入債務の増減額(△は減少)	△68,190	△30,506
その他	△22,116	△138,322
小計	1,623,989	1,157,302
利息及び配当金の受取額	14,663	20,211
利息の支払額	△1,546	△5,468
法人税等の支払額	△608,607	△548,631
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,028,497	623,413
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△51,003	△8
定期預金の払戻による収入	1,501	80,238
有形固定資産の取得による支出	△195,549	△343,516
有形固定資産の売却による収入	2,020	1,863
投資有価証券の取得による支出	△1,818	—
投資有価証券の売却による収入	8,924	64,489
投資不動産の賃貸による収入	23,765	23,297
その他	△42,848	△80,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255,007	△254,037
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	147,000	375,000
短期借入金の返済による支出	△137,000	△365,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△331,699	△122,901
配当金の支払額	△178,354	△200,013
非支配株主への配当金の支払額	△2,018	△2,018
その他	△2,105	△7,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	△304,177	△322,396
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,075	△6,664
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	463,237	40,314
現金及び現金同等物の期首残高	3,608,740	4,451,531
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,071,978	4,491,845

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	4,422,330	2,424,905	736,954	458,702	206,223	8,249,117
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,188,085	70,499	14,635	4,006	—	2,277,227
計	6,610,416	2,495,405	751,589	462,709	206,223	10,526,344
セグメント利益	1,016,266	308,959	8,694	46,777	15,044	1,395,743

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,395,743
セグメント間取引消去	△18,315
棚卸資産の調整額	△25,104
四半期連結損益計算書の営業利益	1,352,323

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	4,234,883	2,460,174	742,738	400,756	206,277	8,044,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,220,355	79,018	9,360	1,950	—	2,310,685
計	6,455,239	2,539,192	752,099	402,707	206,277	10,355,515
セグメント利益	581,534	294,419	39,349	31,212	5,468	951,983

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	951,983
セグメント間取引消去	10,924
棚卸資産の調整額	39,188
四半期連結損益計算書の営業利益	1,002,096